

食農学部

1. 食農学部の教育目標と求める学生像

食農学部では、食品産業や農林業の第一線で活躍することや、行政や教育機関などで食品産業や農林業を支えることを目指す意欲を持ち、卒業までに次の4つの力を身に付けたいと考える学生を受け入れます。

- ・ 農学の専門知識を関連産業や地域社会の実践的な取り組みにつなげる力
- ・ 異なる専門分野との学際的な交流によってチームプレイを推進できる力
- ・ グローバルな科学的知見や国際比較の情報を地域の課題解決に活かす力
- ・ 温かい眼差しと冷静な分析力によって地域社会への貢献を持続できる力

食農学部では、2年次後期（第4セメスター）から、食品科学コース、農業科学コース、フィールド環境学コース、農業経営学コースのいずれかに所属することになります。各コースは、次のような基礎的・専門的な知識と能力を身に付けた人材の養成を目標としています。

- ・ 食品科学コース：食品の分析について専門的な知識・技能を修得している。優れた食品の製造について知識・技能のポイントを修得するとともに、地域の食の伝統的な強みを活かす筋道を具体的に理解している。
- ・ 農業科学コース：作物・園芸植物・畜産物などの生産について専門的な知識・技能を修得している。病虫害管理や土壌肥料、気候変動への対応や生産物の品質・多面的有効利用に関する基本課題を深く理解している。
- ・ フィールド環境学コース：森林・農地・水域などフィールドの生産環境の実態を把握し、管理・活用・修復に関するシステムを体系的に修得している。生態系の価値を評価し、スマート農業などデータ駆動型の先端技術を活用して、持続可能な利用や改善に取り組むことができる。
- ・ 農業経営学コース：農林業や食品産業の活動を社会科学の観点から分析する知識・技能を修得している。農商工連携などの新潮流の情報に詳しく、協同組合や共有資源の役割についても深く理解している。

2. 入学者選抜の際に求める知識・技能・関心

本学部での成長を実現するために、以下に掲げる力を有している者を求めます。

- (1) 高等学校までに身に付けるべき基礎学力
- (2) 対象を的確に捉える理解力と分析力
- (3) 主体的に課題に取り組み探究する力
- (4) 客観的かつ論理的な思考力
- (5) 自らの見解を的確に伝える表現力
- (6) 常に食と農に関心を寄せる持続力